

4 年生と 1 年生の合同授業

2026 年 1 月 26 日

臨床実習を終えた 4 年生は「作業療法統合実習」、1 年生は「作業療法基礎」、という科目名で後期に同時開講される授業があり、両学年がコミュニケーションをとりつつ進められます。

4 年生が臨床実習で経験した症例を通して、1 年生と共に対象者を ICF（International Classification of Functioning, Disability and Health：国際生活機能分類という人の「健康状態」と「生活機能・障害」を分類する世界共通のフレームワーク）で説明します。ICF を用いることで単に病気や障害（マイナス面）を捉えるだけでなく、その人が「どのような環境で、何ができているか（プラス面）」という全体像を整理することが可能です。

この授業を通し、1 年生は、4 年生をロールモデルとして、将来の姿を重ねます。作業療法の基本である、作業療法の対象者を「患者」ではなく「人」としてとらえる基礎を学びます。また、全体像を知るために専門知識の必要性を知り、今後の学びへの意欲を高めます。4 年生は、まだ専門知識の少ない 1 年生に対し、自身の経験や知識を「伝える」ことを学びます。

